



令和4年度

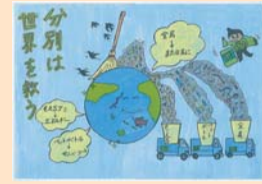
ごみ・リサイクルカレンダー表紙絵を募集

各家庭に配布するごみ・リサイクルカレンダーの表紙絵を描いてみませんか。ごみに関することなら何でも結構です。

- 例ごみになるものはもらわない・買わない取り組みの推進、食品ロスの削減の推進、ごみ収集車、リサイクル、処理施設、地球環境など
- 応募資格 市内在住・在学の小学校4～6年生
- 作品 ▶未発表の作品に限ります▶B4判の画用紙に横長に描いてください▶クレヨン・絵の具など材料は問いません
- 入賞入賞作品は令和4年度ごみ・リサイ

クルカレンダーに掲載します（応募者全員に参加賞を差し上げます）

- 発表入賞者本人に連絡するとともに、市報に掲載します
- 応募方法 9月1日～14日に、作品（1人1作品）の裏に住所・氏名（ふりがな）・電話番号・学校名・学年組を明記し、直接、ごみ対策課（市役所第二庁舎4階）または各市立小学校へ
- お問い合わせ ☎042-387-9835



昨年度の入賞（表紙絵）作品（山口知留さん）

令和4年度 ごみ・リサイクルカレンダー 広告主を募集中

令和4年度ごみ・リサイクルカレンダーに掲載する広告を募集しています。

市内の全戸・全事業所に配布している有力な広告媒体ですので、ぜひ、ご活用ください。

- 募集案内配布 ごみ対策課、市ホームページ
- 8月31日までに、直接、申込書に必要事項を明記し、必要書類を添えて、ごみ対策課清掃係（市役所第二庁舎4階 ☎042-387-9835）へ
- 規格（縦×横） 2.5cm×12cm
- 広告掲載料 50,000円
- 刷色 全色



ごみ減量大作戦！



ごみ減量大作戦は今回から内容をリニューアルし、奇数月の15日号の掲載となりました。今後も引き続き、市民の皆さんに親しまれる内容となるよう心掛けていきます。

なお、これまでお知らせしていたごみ1人1日当たりの排出量は、ごみ減量大作戦での掲載を終了し、今後は、新たな形で最新の情報をきめ細かく発信するよう努めていきます。

さっそくですが、ここでクイズです。以下の数字は何だと思いますか？

約600万トン/年

正解は、日本国内の食品ロスの量（平成30年度推計値）です。本来食べられるにもかかわらず大量の食品を廃棄していることとなります。これを国民1人当たりに換算すると、1日約130gとなり、これは、茶碗1杯のご飯の量に相当します。一方で、世界には安全で栄養がある食べ物を十分に得られていない人が、世界人口の8.9%に当たる6億8千万人以上と推定されています。また、食料生産に費やされた膨大な量の資源が無駄となるだけでなく、廃棄された食料を生産するために発生した温室効果ガスも無駄に排出されることとなり、食品ロス削減は早急に取り組まなければならない課題です。

各家庭から発生する要因は、買い過ぎや作り過ぎ、食べ残し等です。1人1人がどのような場面で食品ロスを発生しているのか考えたうえで行動してみてください。



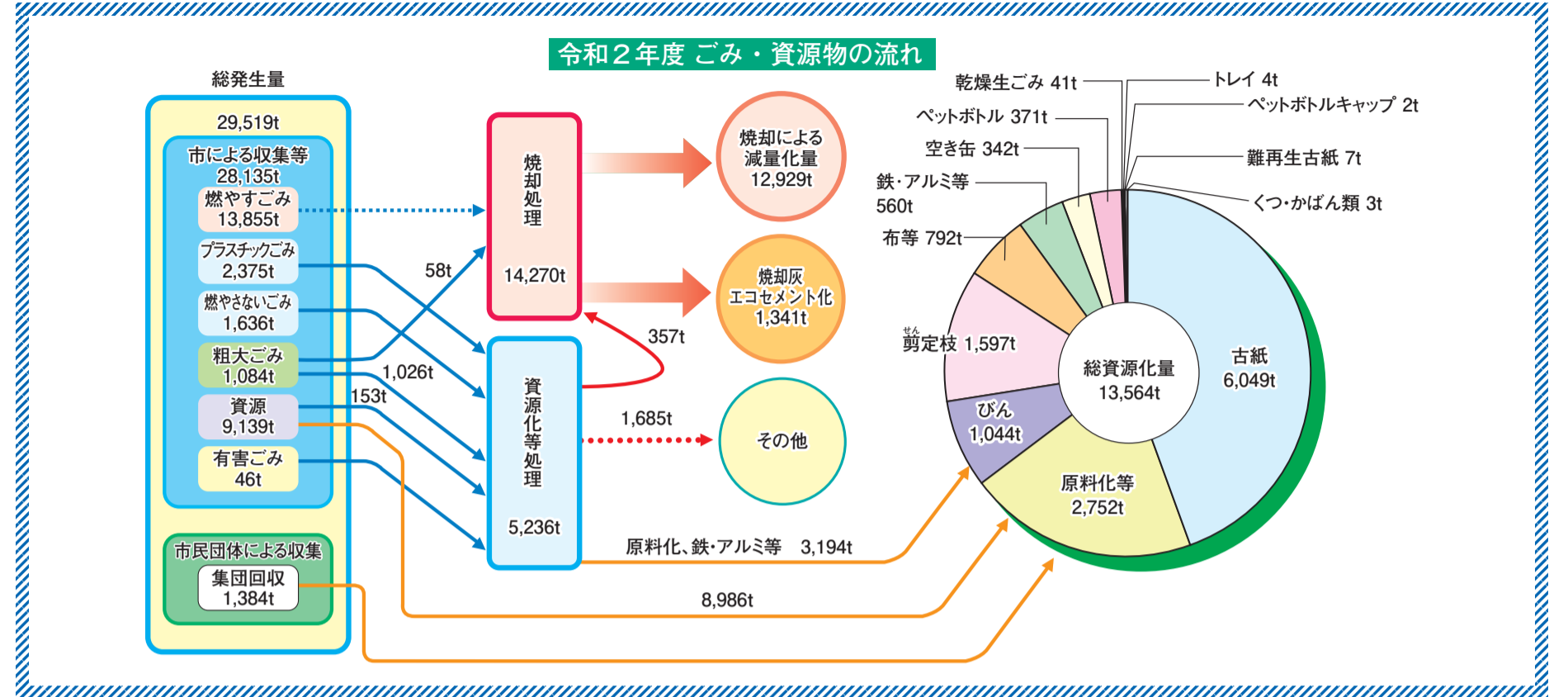
新しい横断幕を設置しました

令和2年4月より浅川清流環境組合可燃ごみ処理施設が本格稼働し、燃やすごみの処理に一定の目途がついたと考え、ごみ非常事態宣言に変わる新たなスローガン循環型都市「ごみゼロタウン小金井」を令和3年度より設定することとしました。サブタイトルは、ごみを出さないライフスタイルを日常生活の中に定着させていただくため、3Rの中でも最優先項目であるリデュースを意識したタイトルにしました。

5月より、市役所、市立小中学校等の公共施設24か所に横断幕を設置しました。引き続き、市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。



令和2年度 ごみ・資源物処理量



家庭から排出されるごみ量が増えています

令和2年度に排出された燃やすごみ、燃やさないごみ、プラスチックごみ、粗大ごみ、有害ごみの各ごみ量については、前年度と比較してすべて増加となりました。（右図）

新型コロナウイルス感染症拡大防止による、在宅勤務やテイクアウト需要の拡大等、生活様式の変化が家庭系ごみ増加の要因となっていると考えられます。

日ごろより、市民の皆さんにはごみの減量と資源化にご協力をいただいているところですが、ごみ処理施設の安定的な処理を継続するため、また施設周辺にお住まいの皆様および関係者の皆様のご負担を軽減するため、より一層のごみの減量と資源化に努める必要があります。

ごみを出さないライフスタイルの実現に向け、食品ロス削減や生ごみの水切りなど、ごみ減量の基本となる発生抑制に積極的に取り組み、さらに資源物とごみの分別排出を徹底していただくよう、ご理解とご協力をお願いします。

主な家庭系ごみ排出量

	令和2年度	令和元年度	増加量	増加率
燃やすごみ	12,408t	11,783t	625t	5.3%
プラスチックごみ	2,375t	2,250t	125t	5.6%
燃やさないごみ	1,636t	1,443t	193t	13.4%
粗大ごみ	1,084t	1,011t	73t	7.2%
有害ごみ	46t	42t	4t	9.5%
合計	17,549t	16,529t	1,020t	6.2%

市民1人1日当たりの家庭系ごみ排出量

令和2年度	令和元年度	総資源化率	
		令和2年度	令和元年度
390g	369g	46%	50%

危険 有害ごみの分別徹底をお願いします

電池・蛍光管・水銀血圧計・水銀体温計・電球型蛍光灯などの水銀製品やライターは有害ごみです。燃やすごみ、燃やさないごみ、プラスチックごみの中に絶対に混入させないでください。

特にリチウムイオン電池等の混入による発火事故が多発しています。電池やライターは、収集車や処理施設等での火災や爆発事故を起こす可能性があります。また、水銀製品が混入すると、処理施設の運転が停止して、処理が滞る可能性がありますので、きちんと分別するようご協力をお願いします。

有害ごみの日に出してください



4月から、ボタン電池、モバイルバッテリー、リチウムイオン電池、充電電池等が有害ごみで出せるようになりました。※電池が外せない製品も、有害ごみとして出してください

電池が外せない製品（例）



水銀製品の適切な分別を

昨年度、燃やすごみの中に水銀を含むごみが混入していたことが原因で、浅川清流環境組合可燃ごみ処理施設の排ガス中水銀濃度が、一時的に公害防止基準値（50 μg/mN）を超える事態が発生しました。

燃やすごみの中に水銀などの有害物質が混入してしまうと、最悪の場合、焼却炉の稼働停止という事態となり、3市のごみ収集・処理業務にも影響を及ぼし、周辺住民の健康にも多大な影響を及ぼす可能性があります。水銀などの有害物質を含む製品は必ず有害ごみとして分別して出してください。



夏休み生ごみ投入リサイクル事業を実施します

下表の小・中学校で、学校に設置している生ごみ処理機を利用した生ごみ投入リサイクル事業を実施します。家庭から出る生ごみを投入することができます。生ごみ処理機に生ごみを投入し処理することで、家庭から出る燃やすごみ削減や臭い等の軽減にもつながります。ここで投入された生ごみは、野菜や果樹を作るための食品リサイクル堆肥としてリサイクルされます。

学校名	実施期間	実施曜日	時間	食用廃油	くつ・かばん類
①第一小学校	7/24～8/28	土	9:00～10:00	○	7/24
②第四小学校	7/24～8/9	月～土	9:00～10:00	—	8/9
③前原小学校	7/21～8/25	水・土	9:00～10:00	—	—
④緑小学校	7/24～8/28	土	9:00～10:00	○	8/21
⑤南小学校	7/24～8/28	土	9:00～10:00	○	—
⑥第一中学校	7/24～8/21	土	10:00～11:00	○	8/21
⑦第二中学校	7/24～8/21	土	9:00～10:00	○	8/14

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となる場合があります。市ホームページ、ごみ分別アプリ等をご確認ください

